

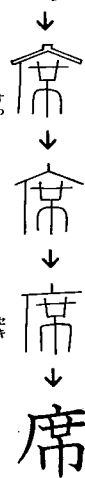
# 席

四年

画数 10  
筆順  
オン  
セキ  
フシ

一 戸 席 席

成り立ち



「座るための「しきもの」」（例席巻）という意味や、「座る場所」という意味に使われます。例座席、客席、出席、着席。

〔籓（敷くこと）の意味を仮借した「庶」と、布の意味の巾との形声字であるが、これでは子供には分かりにくいので、「席」を「家の中の座る所」を表した象形字と見た。廿は、「二十」と見ることができるので、「家の中に設けられた「数多くの座席」を表したものと考えてもよい。〕

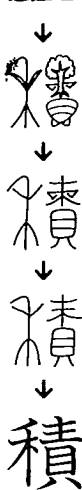
# 積

四年

画数 16  
筆順  
オン  
セキ  
フシ

禾 稊 精 積 積

成り立ち



むかしは、取れた稲の一部分を国の費用にあてるため役所におさめる責任がありました。その「責任としておさめる稲」を「積」、のちに「税（年799）」と言いました。その稲は、べつの所に積まれていて、手をつけることがないので、いつ見ても「積まれていてだけ」でしたから、「積む」という意味に使われるようになり、そのため「税」という字が作られました。また、物の「かさ」「大きさ」「広さ」の意味にも使われます。例体積、容積、面積。

▽ぼくが電車の座席にすわっていると、荷物を持ったおばあさんが前に立ちました。それで、すぐに座席をおばあさんにゆずると、おばあさんは、うれしそうに「ありがとう」と言って座席にすわりました。

熟語例

- ▽座席（すわる場所。すわる席）
  - ▽客席（客がすわる席。「観客は客席に着いて、劇が始まるのを待っていました」などと、つかいます。）
  - ▽出席（授業や会合の席に出ること。「友だちの誕生日に出席した」などというふうに、つかいます。㊦「欠席」）
  - ▽着席（席に着くこと。「着席して、授業が始まったら、勝手なおしゃべりをしてはいけません」などというふうに、つかいます。）
  - ▽列席（式や会議などの席に、その一員としてつらなること。「お列席のみなさまに申し上げます」などという。）
  - ▽席巻（むしろを巻くように、次から次へと領土を自分のものにしていくこと。）
- ※巻（けん）は、改定音訓表以外の読み方

使い方

- ▽小さいころは、よく積み木で遊びました。山のように積んだり、お城を作ったり、汽車のようにつなげたりして、とてもおもしろかったのを覚えています。
- ▽今年の冬は、ひどく雪が降り積もって、積雪量は九十センチになりました。

熟語例

- ▽積雪（降り積もった雪。「積雪量は、積もった雪の量のことです。）」
- ▽山積（山のように積み重なること。「山積した問題を片端からかたづけろ」などというふうに、つかいます。）
- ▽積年（積もった年ということから、長い間、長年、という意味になります。「積年のうらみを晴らす」などというふうに、つかいます。）
- ▽体積（立体的かさ。「このボールの体積はいくらぐらいだと思えますか」などというふうに、つかいます。）
- ▽容積（入れ物のなかみを一杯にする分量。体積の意味にもつかいます。）
- ▽面積（面の広さ）